

偏波保存ファイバ、減クラッドタイプ

Polarization Maintaining Fibers, Reduced Cladding



- 優れた複屈折性
- 低減衰
- ボウタイ型応力付与構造
- 曲げによる減衰が少ない
- 優れた偏波保持性能
- 均一性に優れた製品

減クラッド構造をもつF-HB1550G(製造元P/N HB1500G)偏波保持ファイバは、クラッドを80 μm とした偏波保持(PM)光ファイバであり、クラッドの直径が125 μm のファイバとは異なります。ファイバオプティックジャイロスコープ、センサおよび通信用コンポーネントなどの用途で最適性能を発揮するように設計されています。減クラッドは、曲げ半径を小さくしながらも曲げ損失を最小に抑える必要のある用途に向けて開発されました。ボウタイ型応力付与構造ですので、既存のPMおよびシングルモードファイバに比べて接合性能を維持しつつ優れた複屈折性を備えています。2層構造の改質アクリル樹脂コーティングが施されていますので、耐久性に優れ、耐静疲労性が高く、光学モードストリップを実現でき、さらに機械的または科学的に剥くこともできます。こちらは、従来モデルF-PMF-RC-1550-B1の後継品です。

仕様

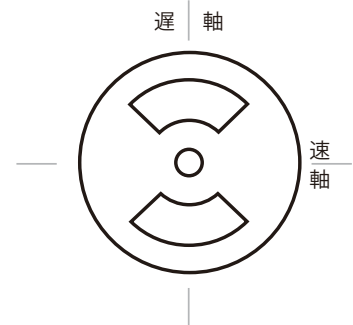
モデルナンバー	F-HB1500G	F-PMF-RC-1550-B1
使用波長 (nm)	1,550	1,550
カットオフ波長 (nm)	1,230 - 1,520	<1,550
モードフィールド直径、公称値 (μm)	7.9	7.8 \pm 0.5
開口数	0.14 - 0.17	0.17
減衰量 (dB/km)		
ビート長 (mm)	<1.8	<4.0
クラッド直径 (μm)	80 \pm 1	
被覆直径 (μm)	170 \pm 8.5	
コア/クラッド同心度 (μm)	<1.0	
ブルーテストレベル	100 kpsi	
コーティング材	デュアルアクリル樹脂	
製造者	FiberCore	StockerYale
製造元部品番号	HB1500G	PMF-RC-1550-B1

ベアファイバ発注のご案内

モデル	仕様
F-PMF-RC-1550-B1	偏波保持ファイバ、減クラッド、1,550 nm、開口数0.17、7.8 μm モードフィールド直径
F-HB1500G	偏波保持ファイバ、減クラッド、1,550 nm

アプリケーション

- ファイバオプティックジャイロスコープ(FOG)
- 電圧および電流センサ
- 光源レーザーとモジュレータの間の接続
- ピッグテール
- 偏光感度を要するコンポーネント



減クラッド偏波保持ファイバの断面図